

2年生リーダー宣言とリーダー像

6月14日に2年生が学年集会を行いました。

内容は「リーダー宣言」。今後、2学期に向けて、様々な学校のリーダー役を2年生が担っていくことになるため、各クラスの希望者が、これから学校を担う学年としての思いを語ってくれました。私も全クラスの宣言を聞きました。どの宣言も、体育大会リーダーや話し合いの司会進行等の3年生の姿に学びながら、これからの附属中を担っていくぞという熱い思いにあふれ、彼らのやる気を頼もしく思いました。今後、2年生がリーダーとして活躍することを期待しています。

集会最後の校長挨拶で、校長として考えるリーダー像として、

「他者意識」＝自分の周囲の状況に気を配り、発言・行動すること。

「理と情」＝人は理論や理屈だけでは動かず、感情や納得を伴ったときに本気で動き出すこと。

「まず実行」＝議論も大切だが、ある程度議論したら、まず実行すること。

特に、「他者意識」「まず実行」が大切だということを伝えました。

その一例として、ちょうどこの日の出勤時に、私が出会った附小生の行動を紹介しました。たまたま見かけたのですが、心豊かになったからです。

私は、自家用車で附属小学校横のバス通りを熊本城方面からセブンイレブンの角で左折し、附中に通勤します。ちなみに、現在、附中、附小、京陵中の3校は、登校時の道路横断をセブンイレブン横の横断歩道ではなく、附中正門横の横断歩道（右写真中のA）を渡っています。バス通りの横断



クラス毎のリーダー宣言

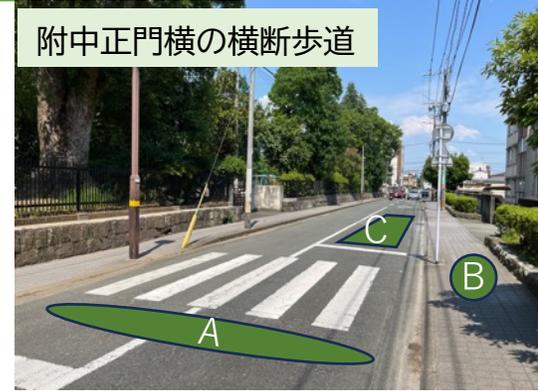
歩道で、右左折車が歩行者横断を待つことで渋滞が発生していたからです。

この日は、セブンイレブンから附中正門横の横断歩道まで附小生、附中生が歩道に切れ目なく列を作っていました。まだ、登校指導の先生が立っていない時間。児童生徒たちが渡りきるのを待とうと思い、写真Cで車を止めました。列の先頭

は附小生の一団。数人が渡って次の附小生たちが渡ろうとしていた時です。高学年であろう児童が自分の後ろの列を確認しながら、写真Bの位置で両手を広げて後ろから来る児童たちを止めてくれたのです。私は「お先に」と手で合図しましたが、逆にこの児童は、笑顔で「お先に」と手で合図を。窓を開けて「ありがとう」と言いながら車を進めると、この児童は会釈を返してくれました。この時の私の気持ちが変わってもらえますか。この後、何度もバックミラーでこの子の姿を確認しながら、なんとも豊かな気持ちで正門をくぐりました。

たまたま学年集会の日の朝に見かけたので、2年生には附小生の行為を紹介しましたが、附中生にも同様の話題があります。バスの中で小中学生がうるさい時に、「静かにしよう」と働きかけた附中生の行動に対して、附小校長から感謝の連絡がありました。なんとも素敵な附中生です。

今回の例のように、日常生活の中で周囲の状況を判断して行動することはリーダーとしての大切な資質です。人前で話をするのが苦手でも、少しの勇気と判断をもって行動すれば、立派なリーダーになれます。附中生誰もが、リーダーとして行動することを、心から期待しています。



附中正門横の横断歩道